

KENCON COOP JOURNAL

【建コンコープジャーナル】2025年1月24日発行 通巻第123号

No. 123

編集/発行

建設コンサルタンツ協同組合

Japan Consulting Engineers Cooperation

〒110-0001

東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミハマビル303号

TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761

URL <http://www.kencon-coop.or.jp>

E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp

PDF版



建設コンサルタンツ協同組合 理事長

山内 一晃

山積した問題を抱える困難な時代。
1社では解決できない問題を解決する一助に。



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤本 尚伸

魅力的なキャリアパスを提供し、
総合的なアプローチで未来を支える人材の確保を。



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史

前向きな「変」、明るい話題の「金」。
光り輝く組合創りを願って。

PDF版

山内一晃理事長ご挨拶	1
藤本尚伸副理事長ご挨拶	2
藤條豪史副理事長ご挨拶	3
組合員名簿	4

建設コンサルタント技術者の心得

建設コンサルタント技術者はその使命と職責を自覚し、社会的地位の向上を図るために、下記の各条を実践する。

一. 人格の形成

知的産業に従事する職業人としての常識と教養を身に付け、さらに敬愛される人格の形成に精進する。

二. 技術力の向上

あらゆる機会に合理性と創造性を追求し、常により高い技術力の修得に努力する。

三. 倫理の徹底

いかなるときも中立的立場を堅持し、秘密を厳守して、クライアントおよび公共に不利益をもたらさない。

四. 公共の福祉増進

建設関連業を通じて、公共の福祉増進に貢献し、地域ひいては国家の繁栄に寄与する。

この「心得」は企業としてのモットーであるべきであると同時に、建設コンサルタント業の社員一人一人の心得るべき事項でもある。社内規定等に採用するとともに、あらゆる機会にこれを表示して、建設コンサルタント技術者の認識と社会的地位向上のために資していただきたいと考えるものである。

「建設コンサルタント技術者の心得」は第6代福岡保理事長の提案で常設の「経営研究会」が設置され、当協同組合のモットーともいうべき標語の検討にかかった。慎重審議を重ね、平成2年3月23日の理事会で制定をみるに至った。

ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 理事長

山内 一晃

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より当協同組合の活動にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

2025 年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年元日に発生した能登半島地震から1年が経ちました。その後の豪雨災害もあり、なかなか復興は進んでいないと聞いております。私の会社がある東北からも随時応援を出しております。少しでも早い復興を祈っております。

さて世界ではロシアのウクライナ侵略がまだ終わらず、北朝鮮のミサイル、韓国では大統領による政治の不安定、アメリカではトランプ前大統領返り咲きによる自国政策の強化と他国の弾圧、日本では円高、物価高騰、与党の大敗による政治の不安定、大雨・大雪による災害などなかなか安定が程遠い世の中になっております。一方、円安の影響、日本食の人気もあり、外国人観光客もかなり来ており、観光面では地方も含め賑わいをみせております。

このような中、協同組合の昨年一年を振り返ってみますと、事務局の移転、就業規則の作成など皆様を支える事務局の充実・強化を図ってまいりました。今後は皆様へより良い情報発信と対応を行っていきたくと思っております。また、例年通り ZOOM による講習会を数回にわたり開催させていただきました。時代の様相も変わり、皆様と直接会い、集合形式でのイベントはなかなか難しくなっておりますが、できる限り有益な情報を発信していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

組合各社の皆様には、受注の確保、人員確保、技術継承など問題が山積している状態だと思えます。中小企業にとって、会社運営するにあたり困難な時代となっております。このような状況ではございますが、協同組合で相互に情報交換し合い、「相互扶助の精神」のもと1社では解決できない問題を解決する一助となればと考えております。

最後になりますが、今後も理事役員一同、組合各社のため、本年も誠心誠意尽力していきます。今後も皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

インフルエンザが大変流行っておりますが皆様にはご自愛いただき、会員各社様、社員様、ご家族様にとって、よりよき1年になることをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤本 尚伸

新しい年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年も組合員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は能登半島地震、航空機事故など、年明けに大変な状況が続きました。今年は、平穏無事な年明けを過ごされた方が多かったかと思えます。ただ、能登半島地震につきましては、復興はまだ道半ばで、我々、建設業界に携わる者としては、多くの課題が突き付けられていると考えられます。

また建設コンサルタント業界にとって、昨年は、大きな変化と成長の年でした。特に注目すべきは、デジタルトランスフォーメーションの進展と、環境への配慮を強化する動きでした。また、新たな技術の導入や効率化が進み、多くのプロジェクトでその成果が見られました。さらに、政府主導のインフラ投資が地域経済に大きな影響を及ぼし、業界全体が活気づいた一年となりました。

これから労働環境の改善とともに、賃金の向上が今後の重要な課題となります。賃上げを実現するためには、労使間の対話が欠かせません。具体的には、生産性の向上やコスト管理の徹底などを通じて、持続可能な賃金構造を構築することが必要です。

さらには次世代の担い手をどのように増やしていくかも重要な課題です。若手人材の採用と育成に力を入れ、魅力的なキャリアパスを提供することで、業界の未来を支える人材を確保することが求められます。教育機関との連携や、実務経験を積む機会の提供など、総合的なアプローチが必要です。

なお、組合活動に関しましては、どのような方針をもって活動を行うことが、みなさまにとって良い組合となるのか、みなさまのご意見を頂戴しながら、模索する年としたいとも考えております。みなさまにご意見を賜る機会があれば、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

本年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げるとともに、業界の発展に向けて共に努力していきましょう。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史

年頭のご挨拶をもうしあげます。

昨年の京都の清水寺で発表される世相を表す漢字が「金」、そして帝国データバンクが企業向けに1年の事業活動を表す漢字について調査したところが「変」ということです。

「金」という感じが選ばれた理由としては、パリ五輪パラでの金メダル、大谷選手の値千金の活躍、佐渡金山の世界遺産登録などの明るい話題のほか、政治の裏金問題や金目当ての闇バイト強盗事件、止まらない物価高騰ということだそうです。そして企業が選んだ「変」の理由としては、国内外の様々な変化に直面する中、企業自身も前向きに変化した1年ということ。組合員の皆様も変化せざるを得ない1年であったのではないのでしょうか。



建設コンサルタント業界においても「変」を実施しない限り改正品格法で明記された「建設業界の担い手の確保・育成」を実現することは不可能な状況となっています。そんな中、「働き方改革関連法」の中における残業時間の上限、建設業界においては5年の猶予期間が設けられていましたが、2024年4月からついにスタート、実際にどんな感じでしょうか。これまで残業を見込んで業務を処理してきた世代にとっては、年間の業務消化量の低下が感じられたでしょうか、若い世代にとっては魅力のある業界になったと感じられたでしょうか、組合員の皆様が取引なされている発注機関については委託工期の設定において、これらの事情について配慮した格好となっているのでしょうか、そう、川の流に例えると上流から下流に至る全区間で川幅を広げてゆったりと流れることが可能となる流水断面にすることが必要となりました。組織力の強化こそが待ったなしの状況で私自身も前向きに変化させた1年であったと感じております。

建設コンサルタンツ協同組合の会員数は平成23年には50社を割るところまで落ち込みはしましたが、それからは右肩上がりで増加し、現在は120社近くとなっております。自社のみで組織力の強化を図ることが困難であっても、組合員同士が「相互扶助の精神」で結びつくことでお互いの足りないところを補えるそんな関係を築きあげることで「変」を前向きなものとして捉えることができるものと思っております。

皆様と一緒に前向きな「変」、そして明るい話題の「金」が光り輝く組合創りとなることを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

Table with 7 columns: 組合員会社名, 代表者氏名, 会社所在地, 組合加入年月日, 従業員人数. Contains 120 entries of member companies and their details.



The logo features the text 'KENCON COOP' in a small, blue, sans-serif font above the word 'JOURNAL' in a large, bold, blue, serif font. A stylized blue and red graphic element is positioned to the left of the 'J'.

編集／発行



建設コンサルタンツ協同組合
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒110-0001
東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミハマビル 303号
TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761
URL <http://www.kencon-coop.or.jp>
E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp